



市政同志会
 帰山 明朗
 議員

避難所でのコロナ対策

問 新型コロナウイルスに備えた避難所運営の現状と課題は。

答 避難所に大人数が集まり過ぎないように、体育館だけでなく会議室や教室等、施設内の部屋を最大限活用することを想定している。

また妊婦・高齢者・障がい者など要配慮者が安全安心に避難生活を過ごせるよう、市内ホテル業組合と施設の提供に関する協定を締結し、個室確保に取り組んだ。

課題としては、分散避難のための多くの避難所確保と医療スタッフが少ない中での避難者のスクリーニングの難しさがある。

今後は、市内ホテルとの協定を広げるとともに、安全な場所にある駐車場での車中泊も避難方法として検討したい。また、災害の種類によっては、安全な近くの親戚や知人宅への避難も選択肢に入れることなど、新たな避難方法を呼びかけたい。



6/22 避難所開設・運営実施訓練の様子



公明党
 奥村 義則
 議員

SDGs推進のチャンス

問 行政、企業、全ての団体、個人においても新型コロナウイルス問題により価値観の変化が生じている。この時をSDGs推進の大きなチャンスと捉えるべきと思うが、所見は。

答市長 コロナウイルスの世界的蔓延によりSDGsに掲げられている基準や概念が覆され、新しい価値観の下での持続可能な社会構築が求められている。同時にテレワークやテイクアウト、電子決済など新しい生活様式が可視化され、Society5.0の必要性が現実となっている。このような変化をSDGs推進の好機と捉え、産学官民の連携で経済、

社会、環境の3側面の好循環、相乗効果を生み出す新しいニーズを掘り起こすことで、地域の中で停滞している様々なものを循環させるきっかけになるものと思っている。



SDGsは世界共通の目標

そのほかの質問

○新型コロナウイルス対策について



清風会
 林下 豊彦
 議員

市の今後のコロナ対策は？

問 コロナウイルスの影響により経済界には多大な影響がある。鯖江の基幹産業が再起不能に陥る前に何か手だてが必要かと思うが、市長の考えは。

答市長 鯖江市内で、いわゆる仕入展みたいなものやってほしいというような要望がある。前向きにいろいろと検討していかなければならない。

問 子育て世代のうち、特にひとり親家庭に対する経済的な支援はないのか。

答 国において、ひとり親世帯臨時特別給付金が予算計上されており、詳細が示され

次第、速やかに支給していきたい。

問 中止になったイベントや行事等の予算の執行停止や不用額が多く発生しているが、これらの予算の今後の執行予定などについては、具体的にどのように考えているのか。

答 コロナ対策に必要な財源を確保するため、関係する団体等の皆様と協議しながら今年度事業の見直しを進めている。国の交付金や不用予算なども活用しながら、新たな市民生活や経済界への支援等に迅速に対応していきたい。